

黄金比は本能

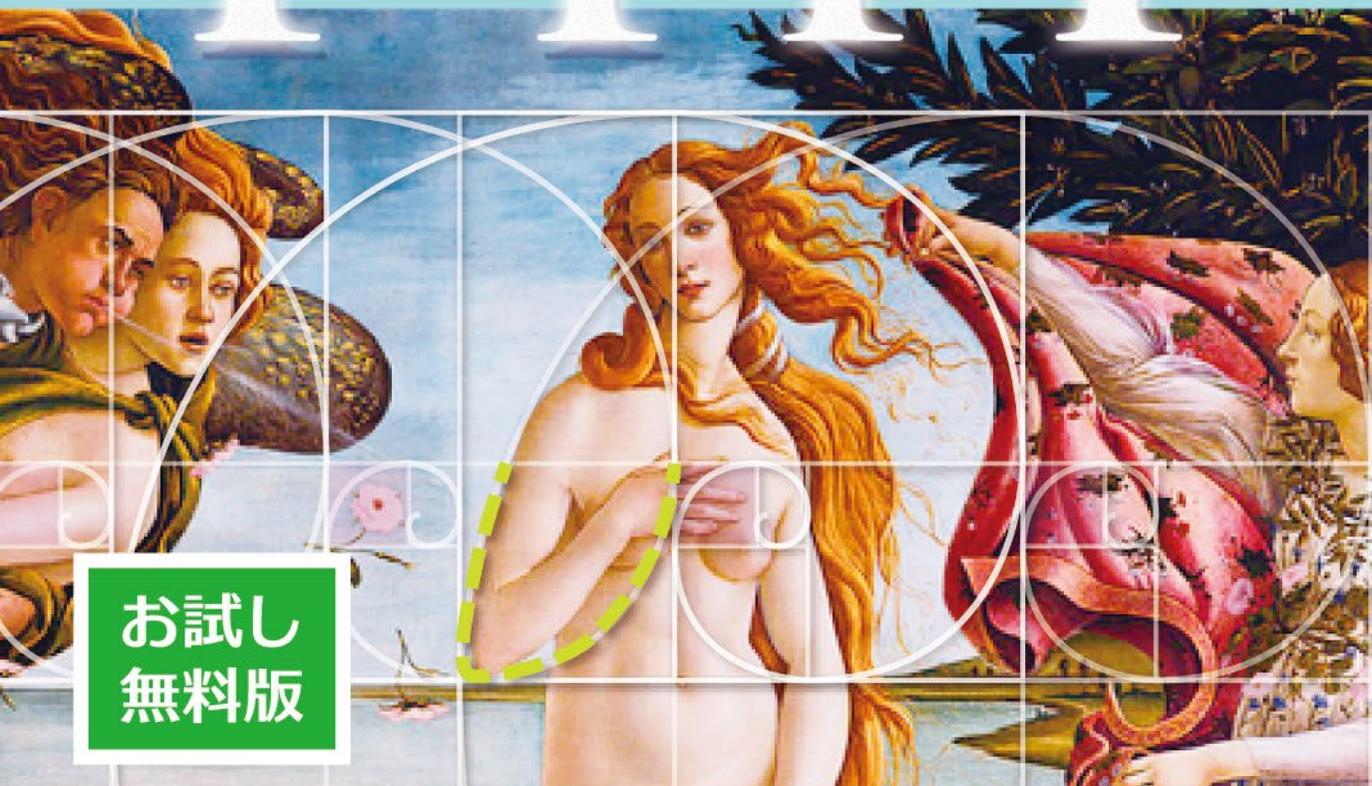
アルケミー

ピー

エイチ

アイ

PHI



お試し
無料版

3次元を描き出す黄金比のZ軸の発見により

モナリザの微笑

5つの古代遺跡

5000年の間

限られた者のみを受け継ぎ

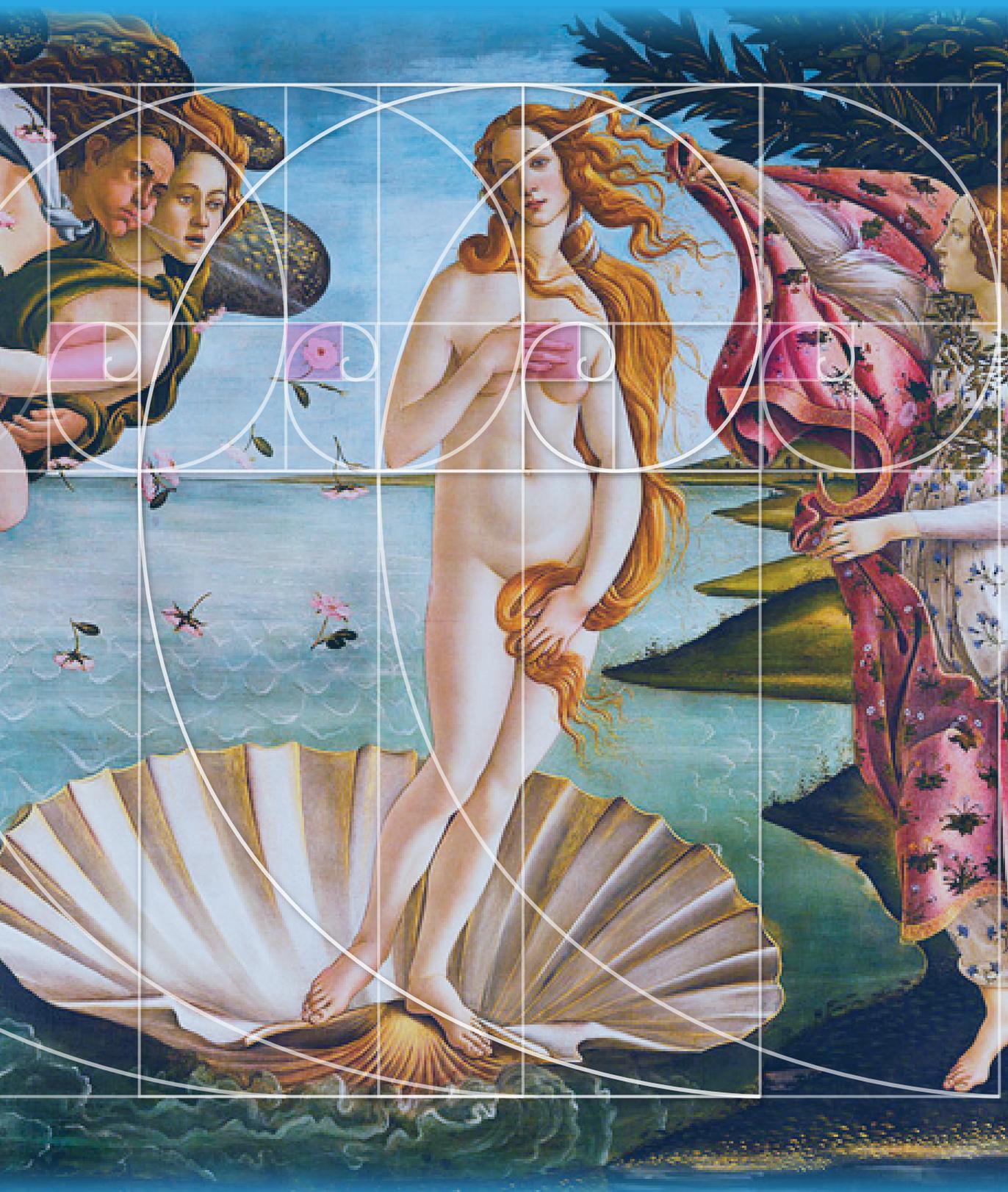
人類に隠されてきた

黄金比の神秘の秘密

遂に
解明

カラー写真で
わかりやすい

1



15世紀イタリア
作 サンドロ・ボッティチェリ

本の内容の全部、または一部の

む だんてんさい ふくせい はいしん
無断転載・複製・配信・

そうしん かいへん えんりよ
送信・改変はご遠慮ください。

しん び しゅうきょう かん
この本には神秘や宗教に関する

き じゆつ しゅうきょうだんたい
記述がありますが、特定の宗教団体や
し そうだんたい ぞく
思想団体に属するものではありません。

また否定するものでもありません。

ピー エイチ アイ

PHI

黄金比は本能

1

アルケミー

はじめに

人は時として、何かの見えない意図に
導かれるのよう
不思議な偶然の連鎖を
体験する事があります。

この本では著者自身がルネサンスを
代表する芸術家の作品の中に
黄金比の神秘を紐解く暗号を発見し

その後、想像をはるかに超える
黄金比の真実を知るに至った
驚くべき一連の出来事を
書き記しています。

この謎めいた図形には
人類の全ての人々に関係しながら

古代より隠されてきた秘密があります

黄金比とは何か？

その情報をできる限り
目で確認できる形で
皆さまにもお伝えしたいと思います。

最後まで読んでいただけたら幸いです。

目次

* はじめに

* 黄金比について ……8

* 調査をはじめたきっかけ ……25

第1章 女神ヴィーナス ……36

* ヴィーナスの誕生の秘密

3次元の黄金比の発見

* モナリザの謎 他

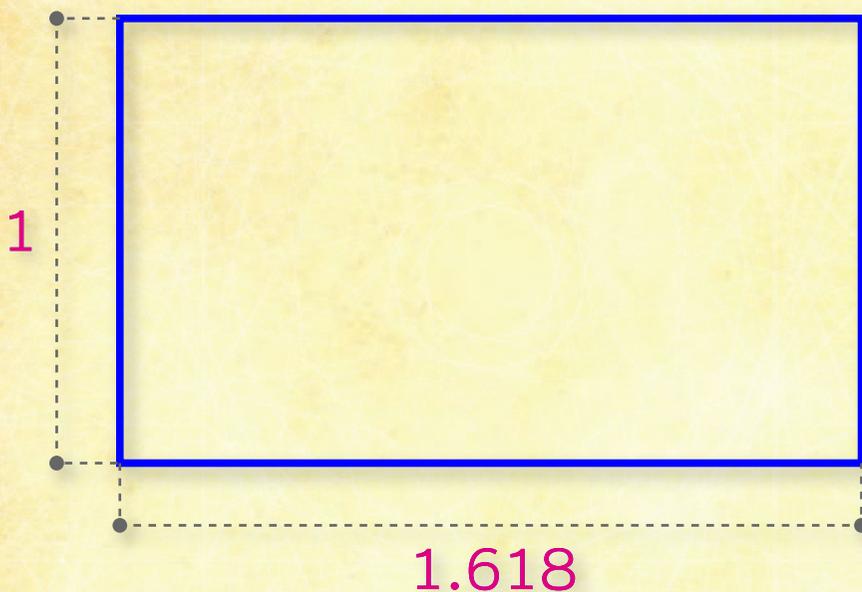
第2章 古代遺跡の秘密 ……153

世界遺産の古代遺跡に何故黄金比
が使われているのかを解明します。

黄金比について

この長方形は黄金比としてよく
知られている

1 : 1.618 の比率で描かれた
黄金長方形です



Φ

Φ はギリシャ語のアルファベットの
ひとつで、1に対する
黄金比の値である 1.618 を表します。
 Φ は英語の発音で (PHI) ファイと
呼ばれます。

おうごんひ 黄金比

黄金比がいつ頃から使われ、その概念がいつから存在するのか、はっきりとした年代は明らかになっていませんが、世界各地に残された古代の遺跡を調べると、古いものでは5000年前頃から栄えたメソポタミア文明、エジプト文明、ギリシャ文明、インダス文明、中国文明、マヤ文明、その他の様々な文明において1:1.618の黄金比が使われていた痕跡がある事が知られています。

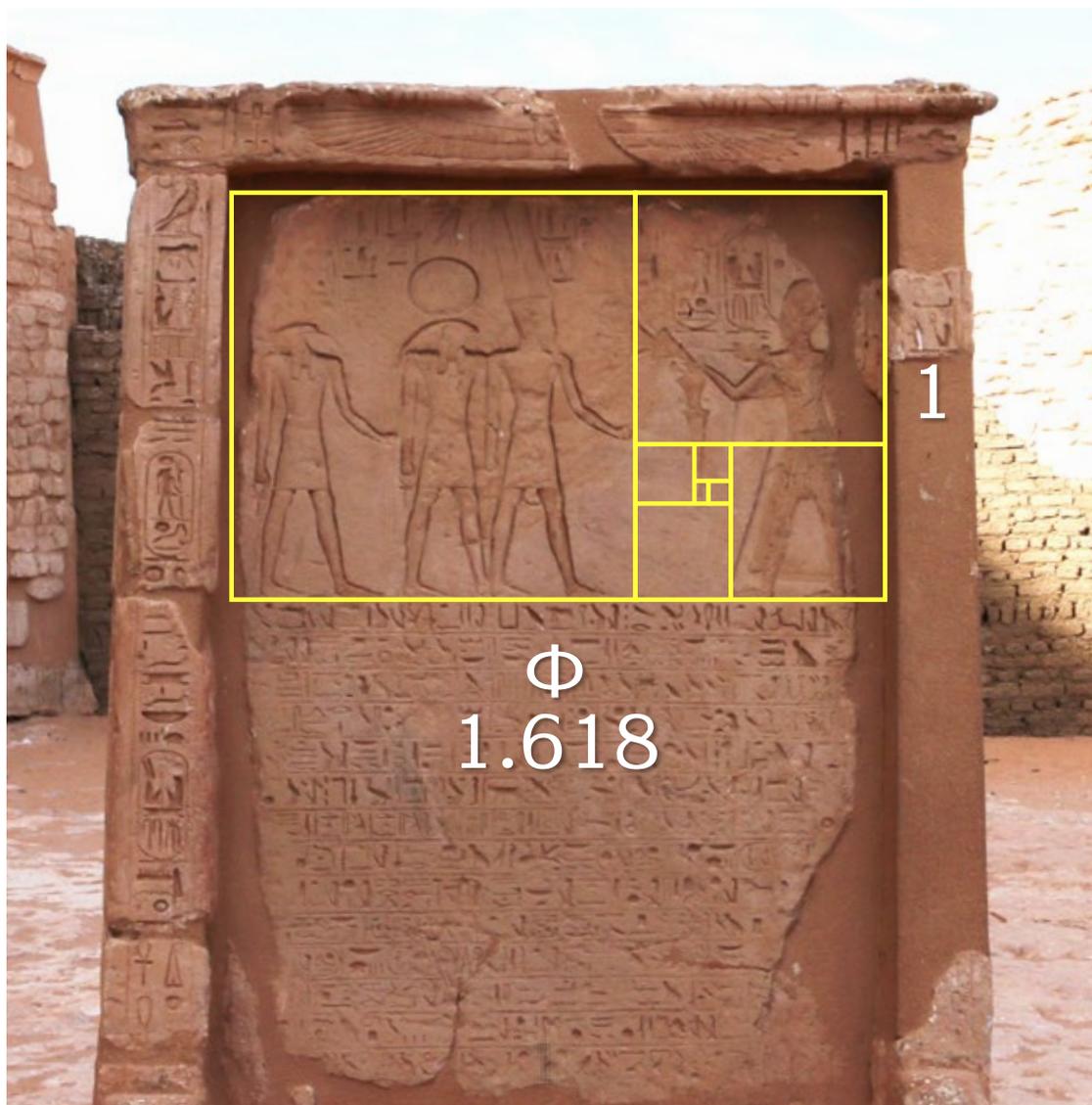
パルテノン神殿

古代ギリシア
紀元前438年完工



1

1.618



エジプト

アブシンベル^{だいしんでんまえ}大神殿前の^{ひぶん}碑文

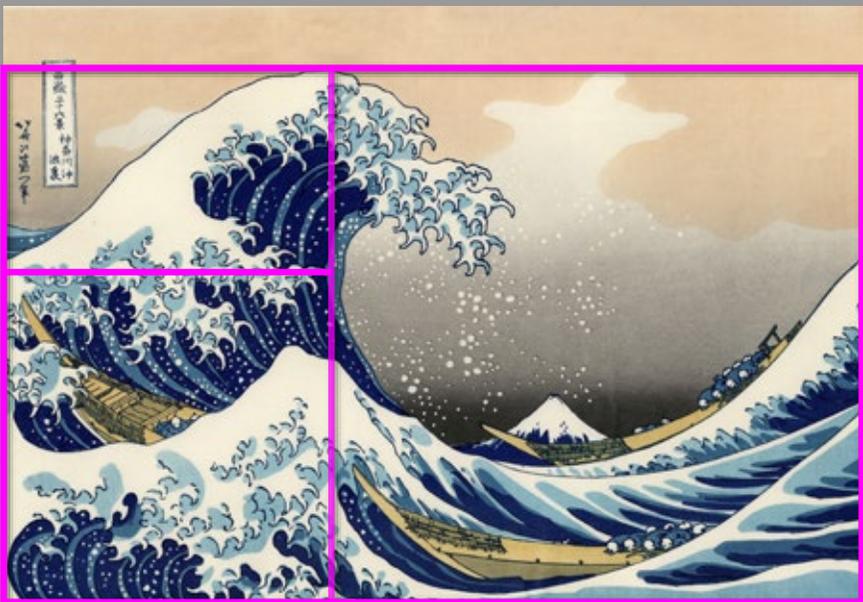
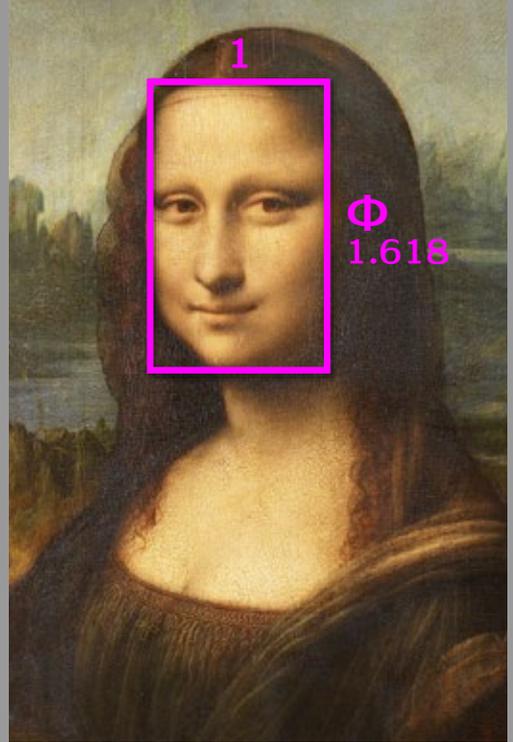
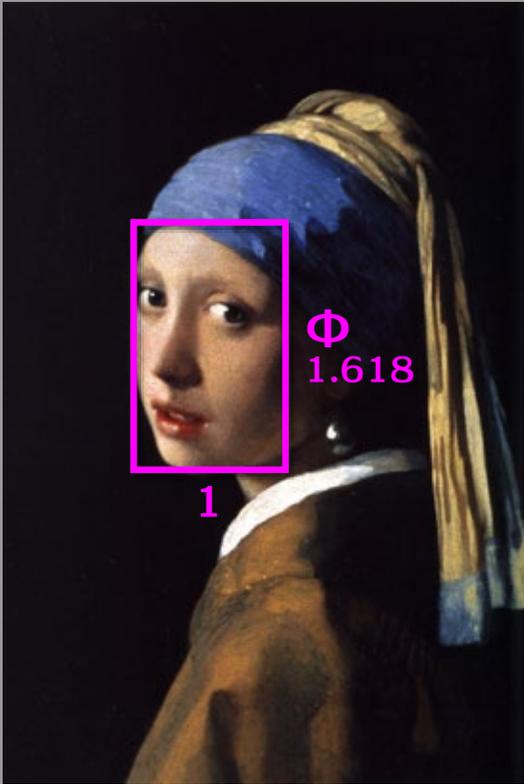
近年、黄金比の比率を使用する商業製品が増えてきました。

大手の企業がまるで競い合うかのようきかくに規格に取り入れ宣伝に使った事で、数年前と比べると黄金比という名前ずいぶんが随分と私達の生活の中に浸透しんとうし、馴染なじんできたように思えます。

しかし黄金比といえは、まず芸術作品を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

歴史に名高いげいじゅつかたち芸術家達の作品の中には長さを計ると黄金比が見つかる、そんな事を一度はきいた事があると思います。

それは黄金比が人にとって美しく見



Φ
1.618

え、安定した自然の形として認識にんしきされる為であるといわれています。

また芸術家達は意図いとしなくてもその形に制作してしまうという説や、意図的に黄金比の形に制作しているという説もあります。

そして、自然の全てのものは黄金比である、という説も目にするようになりました。

しかし、その比ひが美しく自然に見えるのは何故か？という事ことについては、何故か語かたられる事はなく、またこの現実で目に見えるものには黄金比とは思えない形あふのものが沢山溢れている事に気づきます。

黄金比に関する疑問は尽きません。

全てのものが黄金比でできている
というのは本当でしょうか？

何を根拠こんきよにその考えが
伝わりはじめたのでしょうか？

何故、古代の遺跡いせきには黄金比が
秘められているのでしょうか？

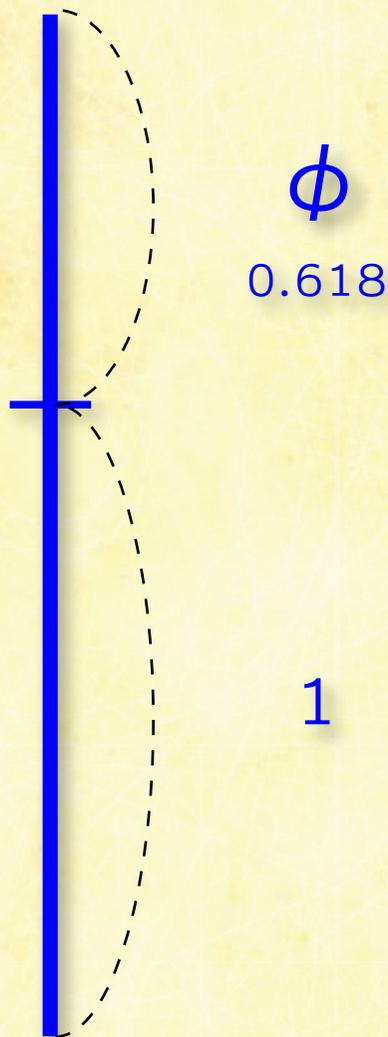
これほどまでに多くの人々が
黄金比を認識するようになったのは
何故でしょうか？

そもそも黄金比とは何であり、
何故その比を人は美しいと
感じるのでしょうか？

この本ではこれらの黄金比に関する謎について、その真実は一体どのようなものであるかを解き明かしていきま

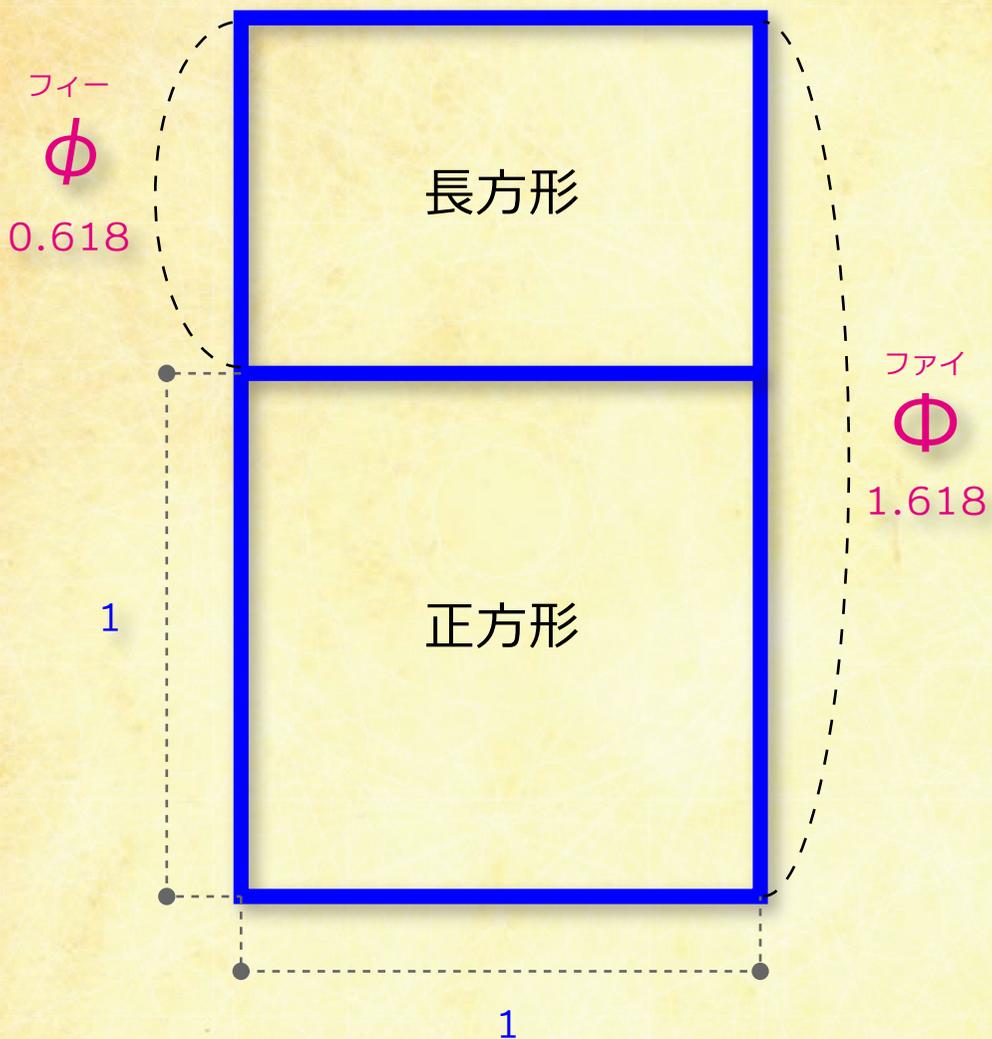
まずはこの本の流れとして、黄金比の基き本的な知識ほんてきを紹介し、その後著者の略ちよしゃ歴りやくと黄金比を何故調べるに至ったか、そのきっかけを説明してから、ルネサンス絵画の謎の解明に進みたいと思います。

1次元 線の黄金分割



最もシンプルな黄金比は1本の線を
 $0.618 : 1$ の比率で分けた
この1次元レベルの黄金比です。

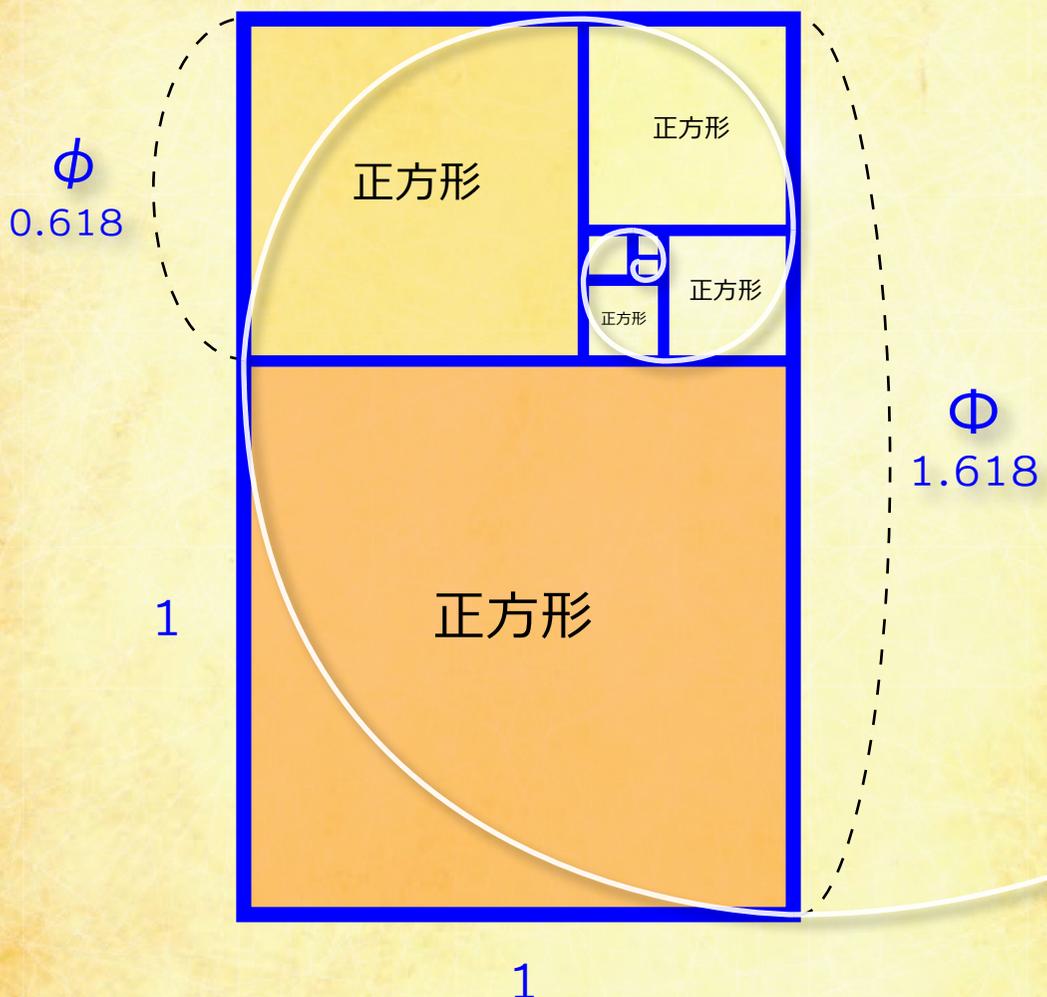
2次元 平面の黄金分割



1 : 1.618 の黄金長方形を黄金分割すると、
上記のような正方形と長方形が表れます。
1.618 は大文字の Φ (ファイ) で表され、
0.618 は小文字の ϕ (フィー) で表されます。

2次元 Φ の無限性

1 : ϕ に分割された黄金長方形の中
の正方形は無限性を持ちます。
らせん
螺旋状に無限に縮小、
または、拡大する事ができます。

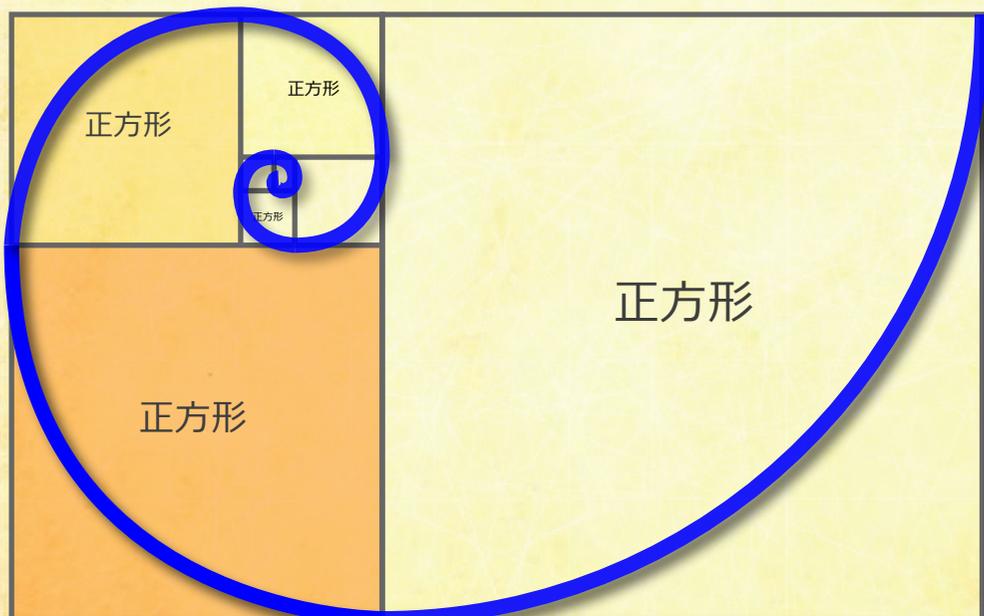


黄金比は《神の比》

黄金比は何故《神の比》と呼ばれるのでしょうか。

それは黄金比の分割の軌跡である黄金螺旋が、自然や動植物の形に一致する事に由来しています。

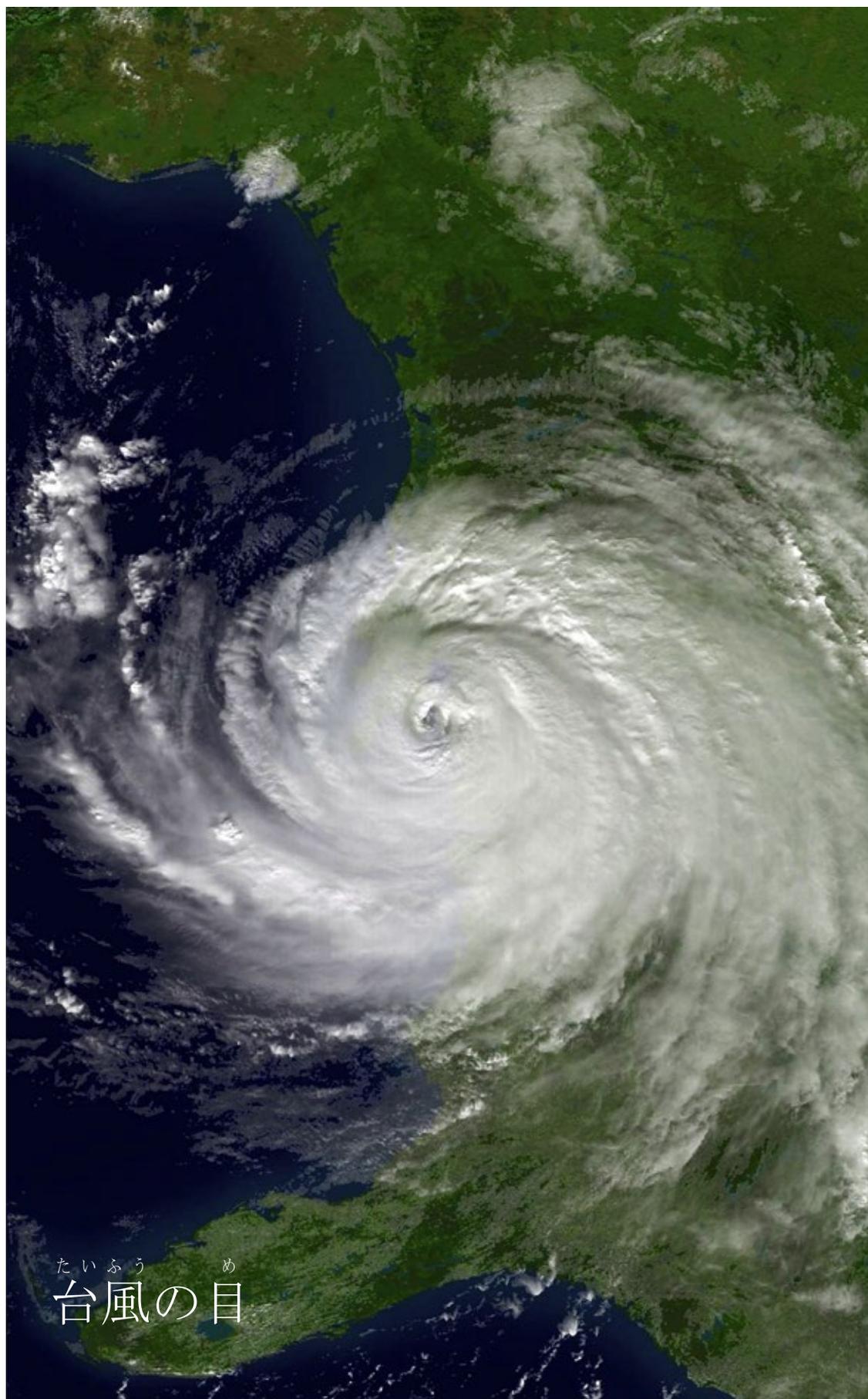
有名なものでは、アンモナイトの形や、台風の渦巻き模様や植物の形と類似している事が知られています。



↑ おう こん ら せん
黄金螺旋

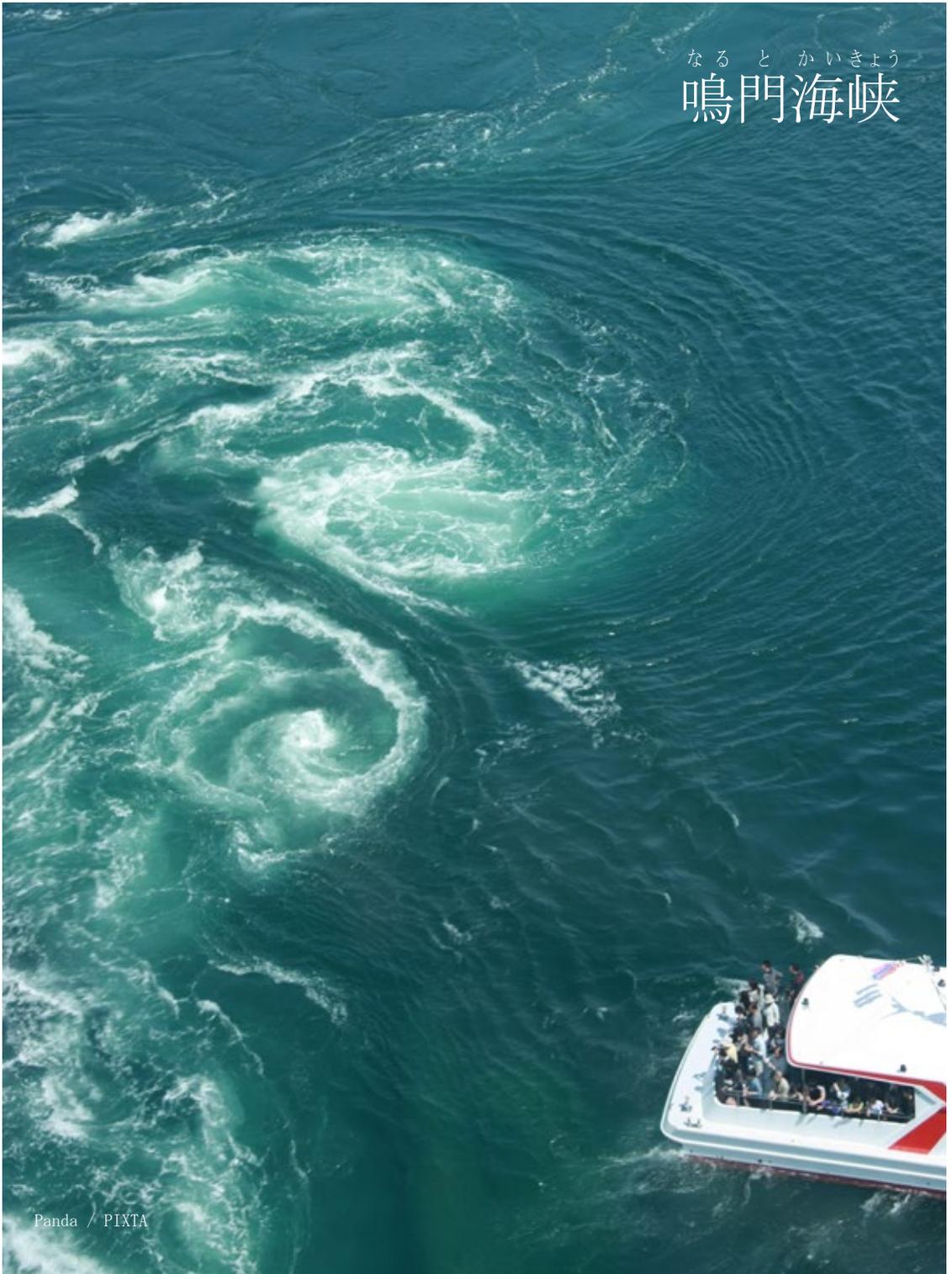


うずまきぎんが
渦巻銀河



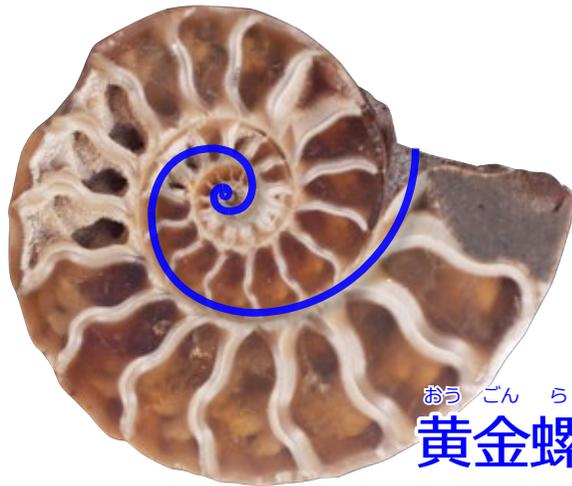
たいふうめ
台風の目

なる と かいきょう
鳴門海峡



Panda / PIXTA

ひょうごけん あわじ とく
兵庫県の淡路島にある南あわじ市と、徳
しまけん なるとし うずしお ちよっけい
島県の鳴門市の間にある渦潮は直径が最大
で20mに達する、世界最大規模の渦潮です。



おうごんらせん
黄金螺旋？

アンモナイトの化石

しかし、植物やアンモナイトの化石など、おうごんらせん黄金螺旋に成長すると言われながら、黄金螺旋には一致していないように見えるものも存在します。

きんじち近似値であるとしてじょうほ譲歩されているようにも思えますが、実のところどうなのでしょうか？



ひまわりの花

黄金螺旋状に成長する
といわれていますが・・・

そんな事例^{じ れい}を見ると、全てが黄金比
できているというのは本当だろう
か？と疑問^{ぎ もん}も湧^わいてきます。

そのような疑問も、この本を読み進
める事^{かいしょう}で解消していきたいと思いま
す。

調査をはじめたきっかけ

黄金比についての基礎的きそてきな説明が終わったところで、著者自身の略歴りやくれきと、絵画の調査を開始するに至った経緯けいゐについてお話しさせてください。

それは私がこれまで仕事の為に身につけてきたスキルが、黄金比の謎を解く事と深い関わりを持ってくるからです。

この本には有名な絵画がいくつも登場しますが、私はもともと美術作品を研究していたわけではなく、古典美術こてんびじゅつに関する知識も学んだ事はありません。

関心の程度ていどはおそらく多くの方と同

じ程度であったのではないかと思います。

私は数年前までは一般企業に勤め、そこでは印刷のデザインに関する仕事に就いていました。

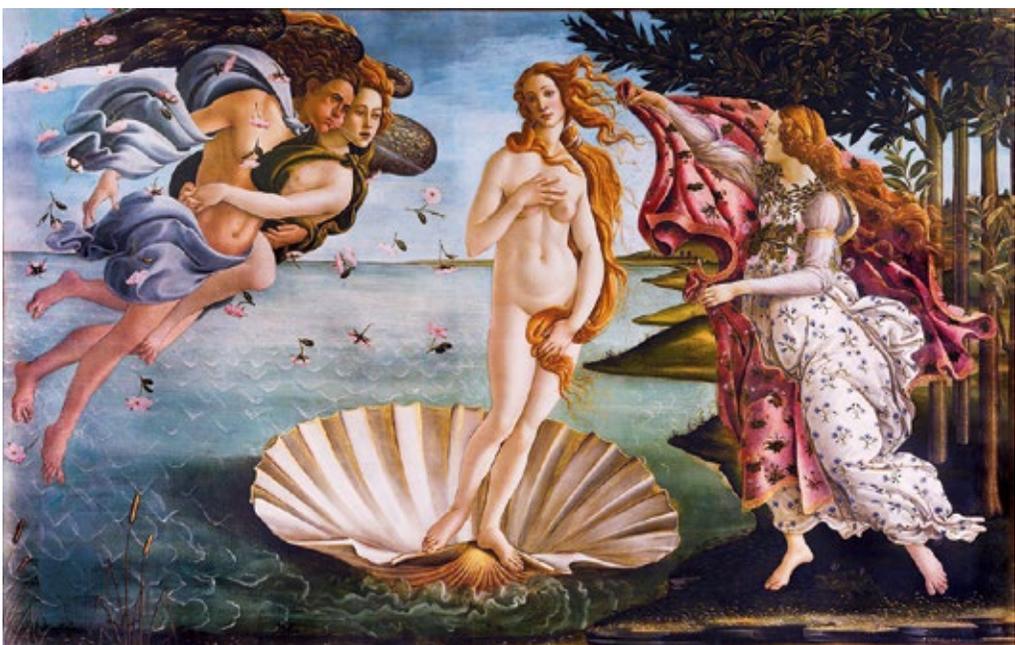
現在はアーティストで天然石の結晶^{けっしょう}や宝石を使ってオリジナルアクセサリーや立体作品を制作したり、また手描きやコンピューターグラフィックスのソフトを使いイラストを描いたり、いろいろな表現方法を使いながら創作^{そうさく}活動をしています。

また10代の頃から人の心に深い関心を持ち、仕事に従事^{じゅうじ}しながら、メンタルトレーナーを育てる学校に通い、

長い間、心理面での探究も続けてきました。

そんな私にある日、ルネサンスを代表する有名な【ヴィーナスの誕生】の絵画の中に、人々にはまだ知られていない秘密がある事に気づく出来事が起こったのです。

それは天然石を使ってクリスタルワンド（石を素材にした立体作品）を制作していた時の事です。





その時作っていた作品は、美と創造^{そうぞう}の女神ヴィーナスをイメージしたクリスタルワンドでした。

特別に思い入れがある作品で、私はその作品を素敵^{すてき}な箱に入れたいと考えました。

しかし市販されている箱を探してもヴィーナスのワンドに合うようなものが見つからなかったのです。

そして、なければ作ろう、どうせ作

るなら黄金比で作ろうと思い立ったのです。

まさかその事が絵画に秘められた黄金比の謎に迫ってしまうきっかけになるとは、もちろん想像もしていませんでした。

黄金比の大きさの箱に思いをはせながら、ふと、

**私が作っている作品は
黄金比と比べると
どんな風に違うのだろうか？**

という考えが浮かびました。

自分がこれまで制作した作品が急に気になりはじめ、既に出来上がって^{すで}い

たクリスタルワンドを黄金比と比べて
みたいと考えました。

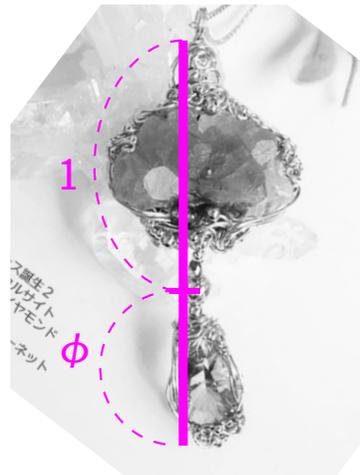
作品の写真をパソコンのグラフィック
ソフトを使い、黄金比と比べてみま
した。



クリスタルワンド

この本で確認かくにんに使っている写真は左右上下の
比率ひりつ ちようせいを調整しておりません。また可能な限り正
面から撮影さつえいしているものを使用しております。

すると、長さを測って作ったわけでは
ない作品でしたが、黄金比の形に
ぴったりと合っていたのです、結果に
目を見張りました。



黄金長方形や
黄金分割になっていた作品の一例

他の作品も確認してみました。

出来上がった作品の数々は、やはり意図せず作っていたのにも関わらず、黄金比になっている事がわかりました。

私の作品の制作手順は、細かなデザインは起こさず、大まかな形を決めたあとは、石の形を生かしながらインスピレーションでワイヤーを曲げ、編み



こんでいく手法をとっています。

その為長さを測る必要がありません。

ワイヤーを計算通りに曲げて意図したサイズの作品を作る事は、おそらく長い時間をかければ不可能ではないと思います。

しかし、シルバーや金張りのワイヤーには硬さがある為、長さを決めて曲げるという行為は紙に描くほど簡単な作業ではないという事は想像していただけるかと思います。

私は自分が良いと思う感性に従いワイヤーを曲げながら作品を作っていました。

これが計算せずに黄金比の値で出来てしまうなら、もしかするとこれまでささや撮かれてきたように

黄金比は美しいと感じるしゃくど尺度である
という説は本当かもしれない。

それは私にもあって、
むいしき無意識にその形に作ってしまった
のかもしれない・・・

と考えました。

自分の作品が黄金比と一致した事で、黄金比への関心が高まりました。

そして次に、有名な絵画【ヴィーナスの誕生】の中にも黄金比が使われて

いるという噂うわさがある事を思い出しました。

【ヴィーナスの誕生】の中に黄金比こうきしんを探してみようか？と好奇心わが湧いたのです。

それがこれから皆さまに最初にお見せする、【ヴィーナスの誕生】の絵画の調査を始めたきっかけでした。



第1章

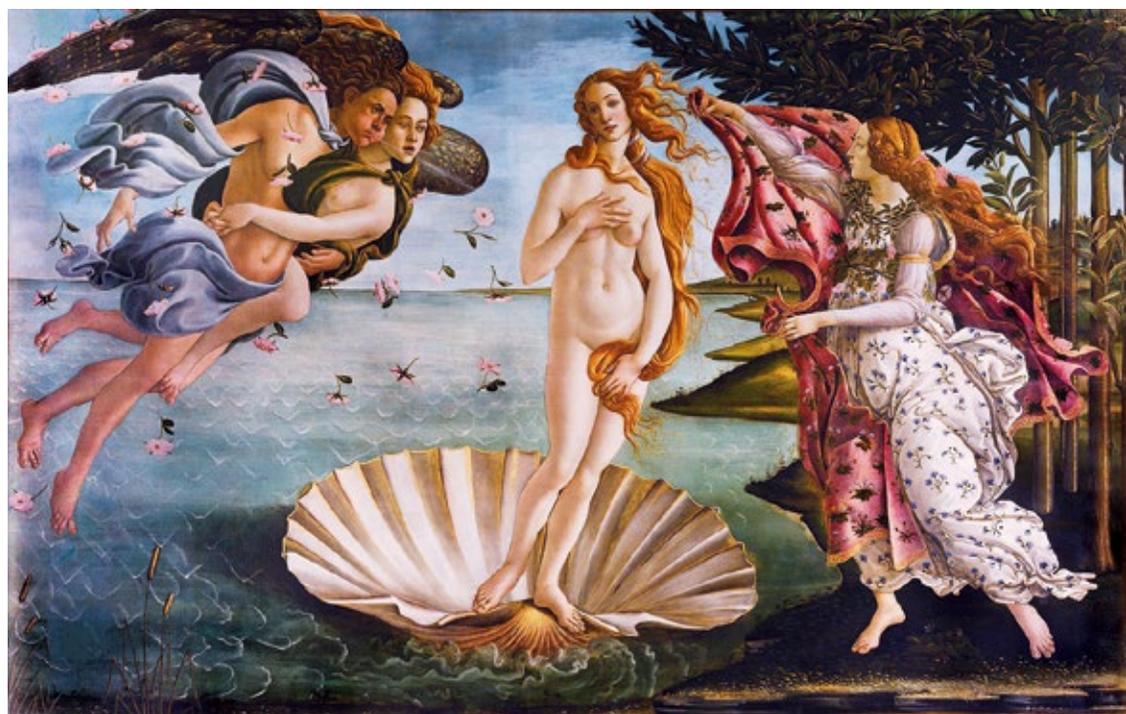
女神ヴィーナス



ヴィーナスの誕生の秘密

テンペラ画 サイズ 172.5cm×278.5cm
15世紀 イタリア (1486年制作)

作者 サンドロ・ボッティチェリ (1444- 1510)
イタリア ウフィツィ美術館 蔵



めがみ
女神ヴィーナスが描かれている最も有名な絵画は、この【ヴィーナスの誕生】ではないでしょうか。

ボッティチェリが描いた絵画の中でも傑作けっさくと名高い作品です。

この絵画はルネサンス期と呼ばれる15世紀のイタリアで描かれました。

縦 172.5cm × 横 278.5cm もある大きな作品です。

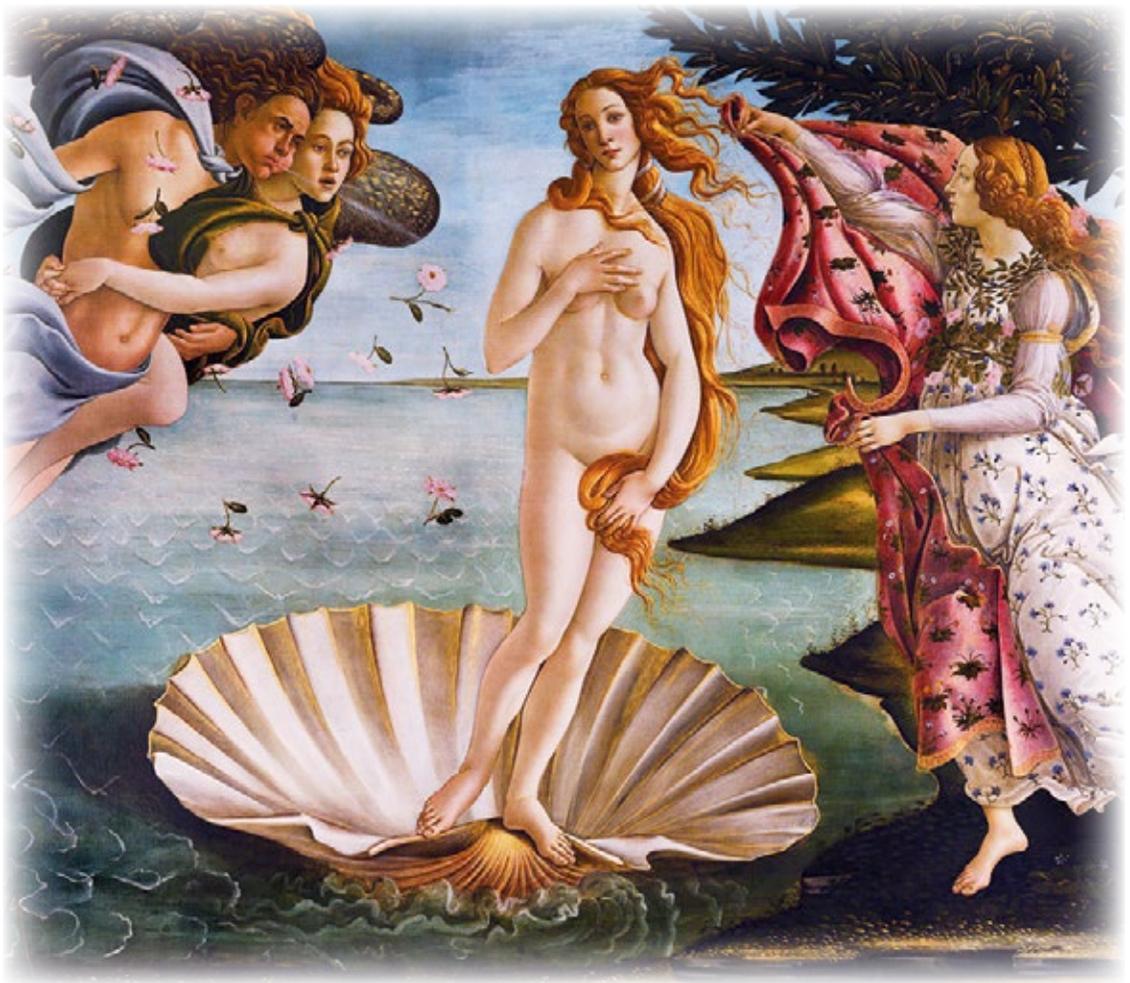
絵画の中心に立っている女性が、夜明けの海から生まれたばかりの女神ヴィーナスです。

左にいる男女はギリシャ神話の西風にし かせの男神ゼピュロス、ゼピュロスに寄りよ添おがみっている女性は、花の女神のフローラ、風神がフーっつと息を吹くと、風がおこり、ヴィーナスは風と海水に運ばれ、ギリシャのキプロス島ひょうちやくに漂着しました。

岸辺きし べでは春の妖精ようせいが炎の色のマントを広げ、ヴィーナスの到着とうちやくを待ち構かまえています。

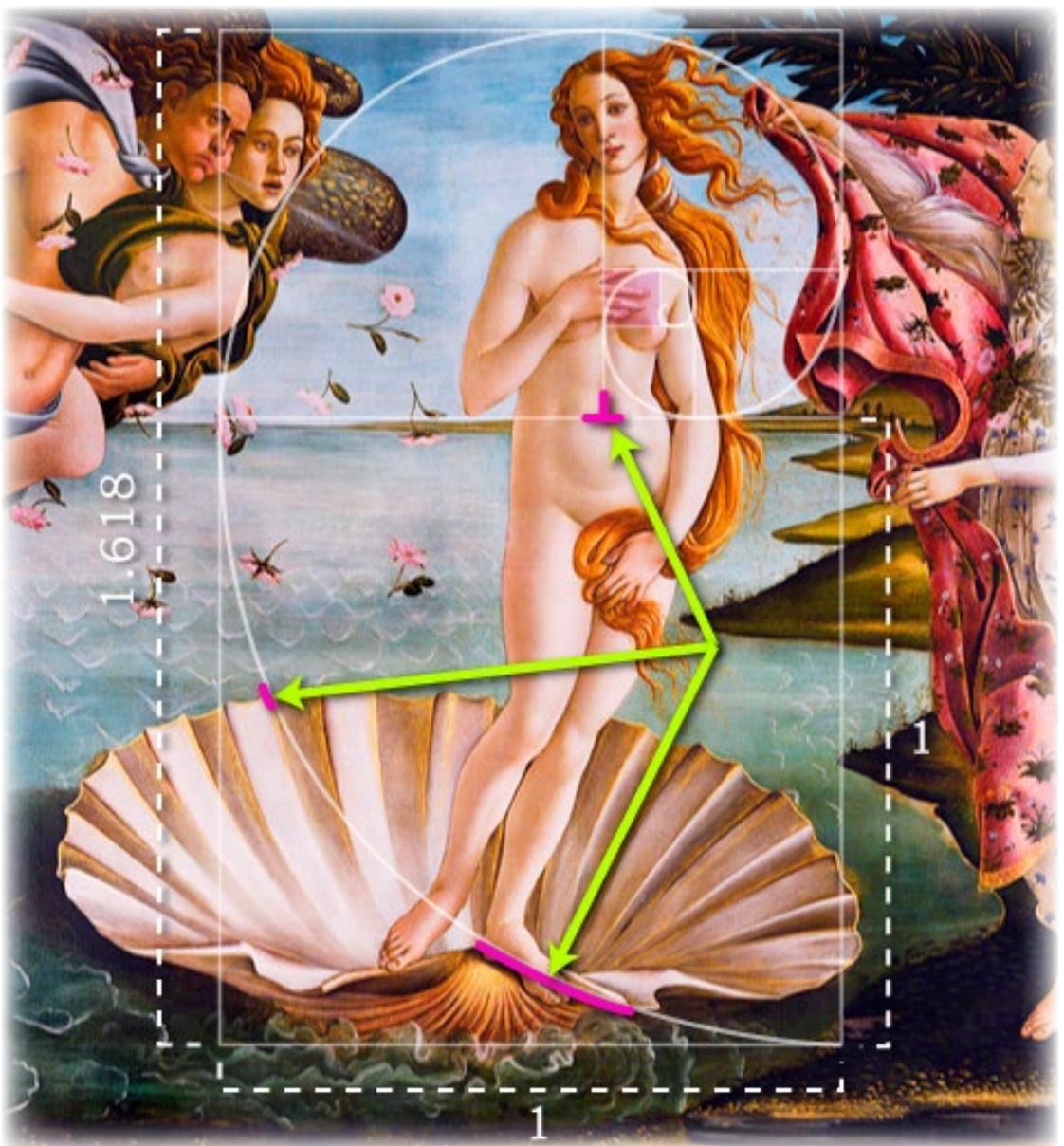
岸辺きし べに描かれている植物は、ギリシャの理想郷り そうきょうである黄金のりんご園です。

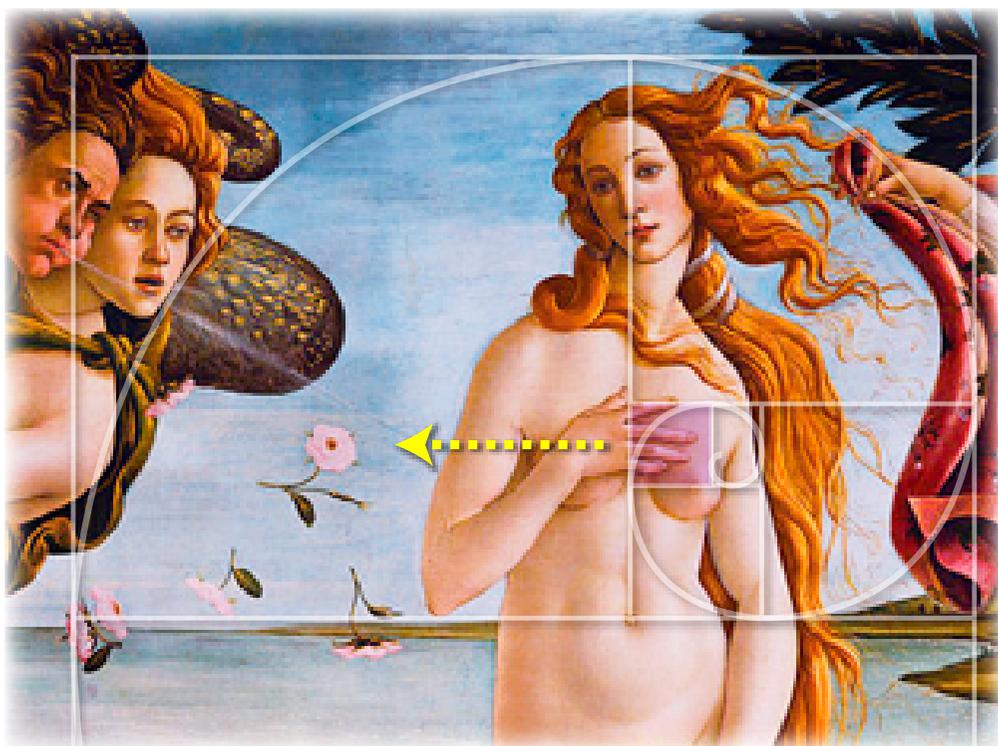
ヴィーナスの首の長さや、左肩の傾かたきは解剖医学的かたむにはありえない形ですが、それは美を強調する為ではないか、と解釈かいしゃくされています。



黄金比を探す為、最初に着目したのは、この絵画の中心に描かれている女神ヴィーナスでした。

黄金分割の位置をヴィーナスのオヘソの上に置いてみると、貝の形が螺旋の形に合っているように思えたので、黄金比をちょうど良いと思える大きさに調整してみたのです。



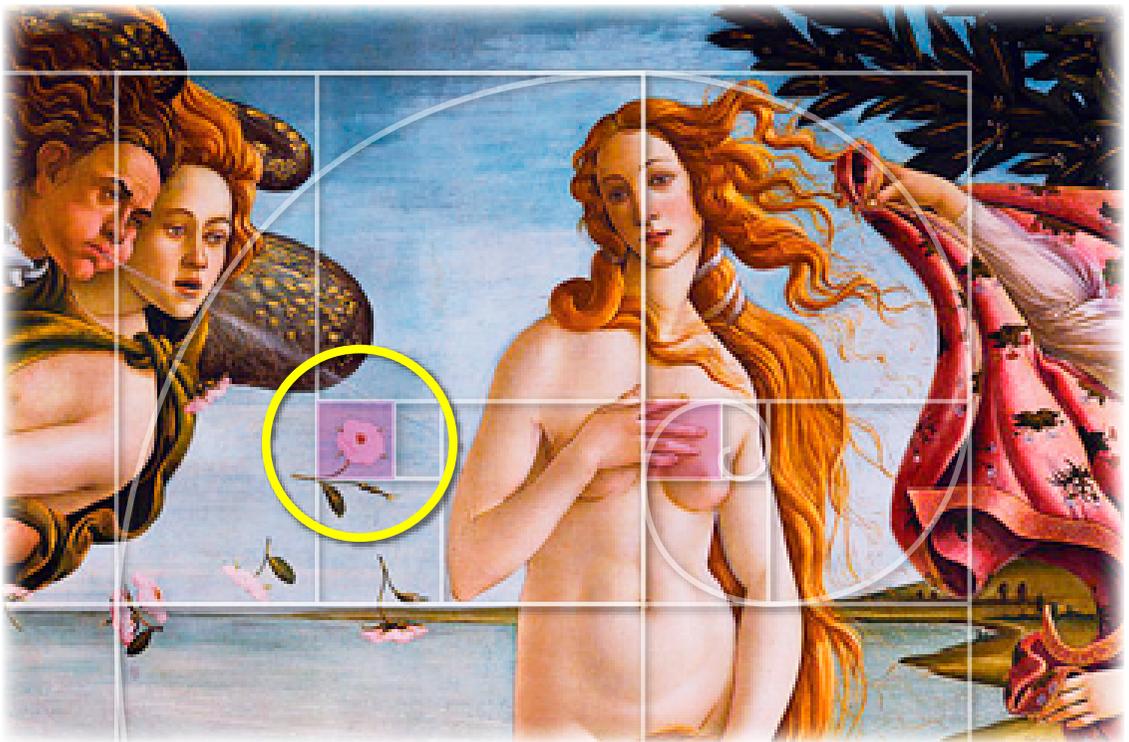


するとヴィーナスの横に描かれたバラの花が、急に存在感を増したように目に飛び込んできました。

この花の位置はちょうどヴィーナスの心臓しんぞうの位置の真横にあるな・・・と思いました。

黄金比を黄金分割の位置に合わせて
複写^{ふくしゃ}してみました、すると先ほど気にな
ったバラの花が、**ヴィーナスの心臓
の位置にあった正方形の中にぴったり**
と収まったのです。

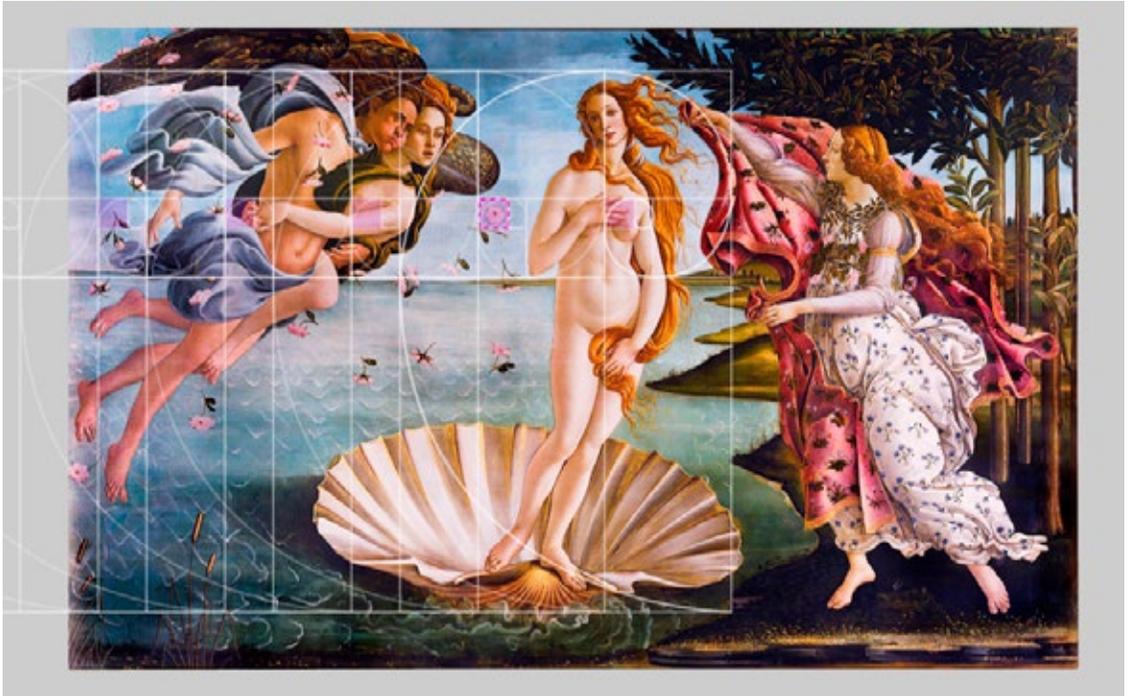
これはどういう事だろう・・・。



さらに左に黄金比を^{れんしゃ}連写していきま
した。

連写した黄金比も^{ずがら}絵画の図柄と
フィットしているように思えました。





これは私の考えすぎだろうか・・・。

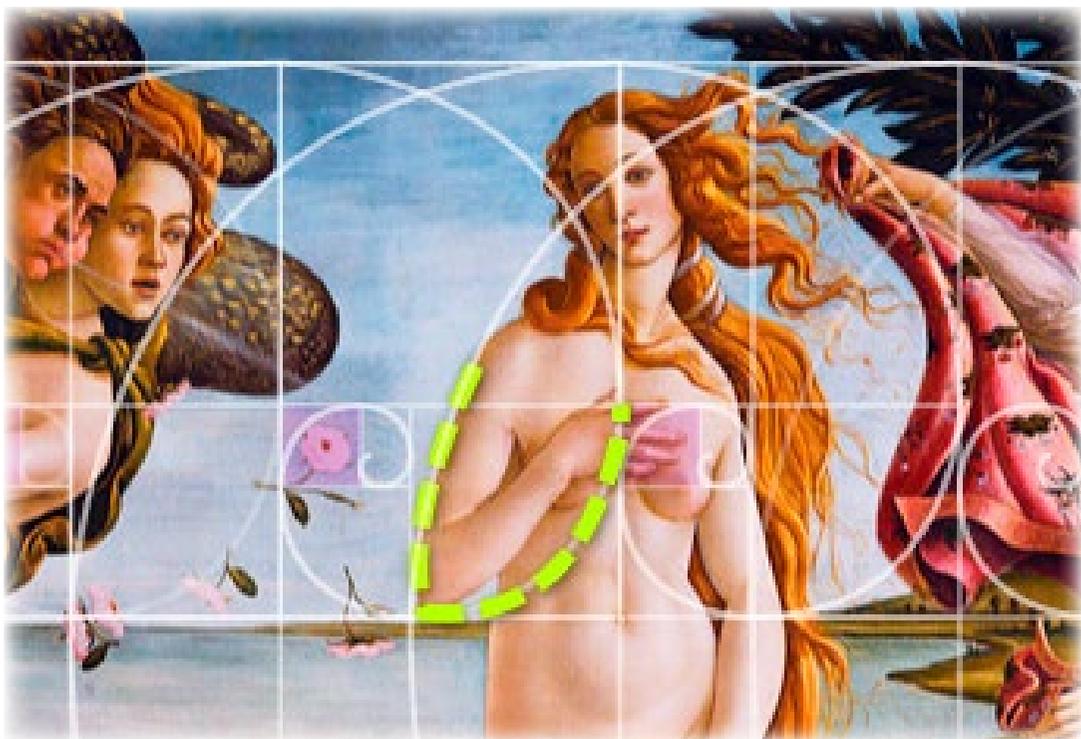
しかし相反する、かすかな^{きたい}期待で胸
が高鳴りはじめました。

もしかするとこの絵は、全体が黄金
比をベースに描かれた絵ではないだろ
うか・・・？と思ったのです。



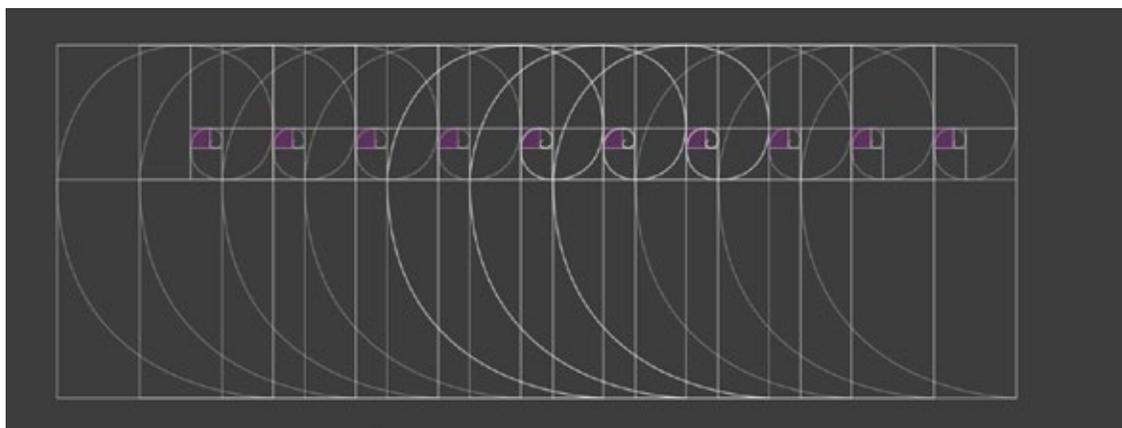
そして右側にも黄金比を^{れんしゃ}連写しました。

やっぱり絵と黄金比がフィットしているように思えます。

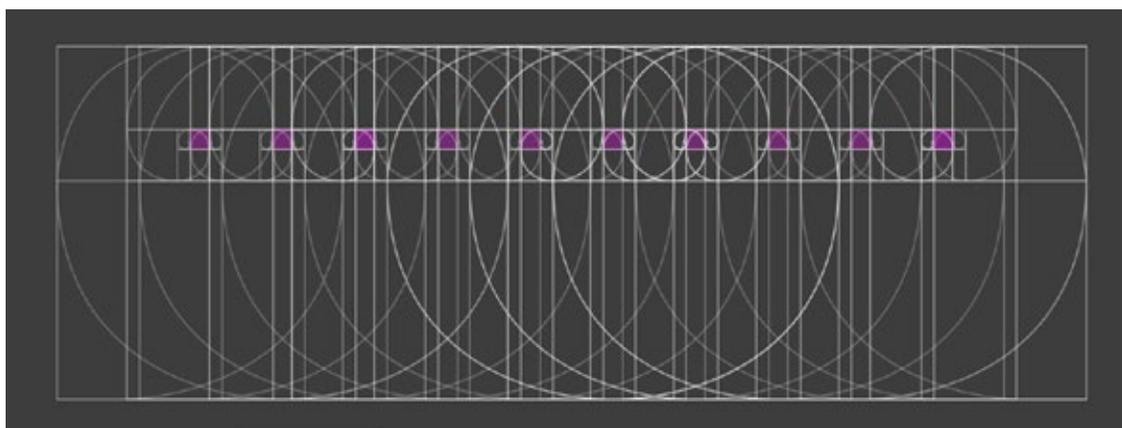


ヴィーナスの腕も螺旋の形に重なったように思えました。

^{れんしゃ}
連写した黄金比だけを抜き出すと、
下記のような形になります。

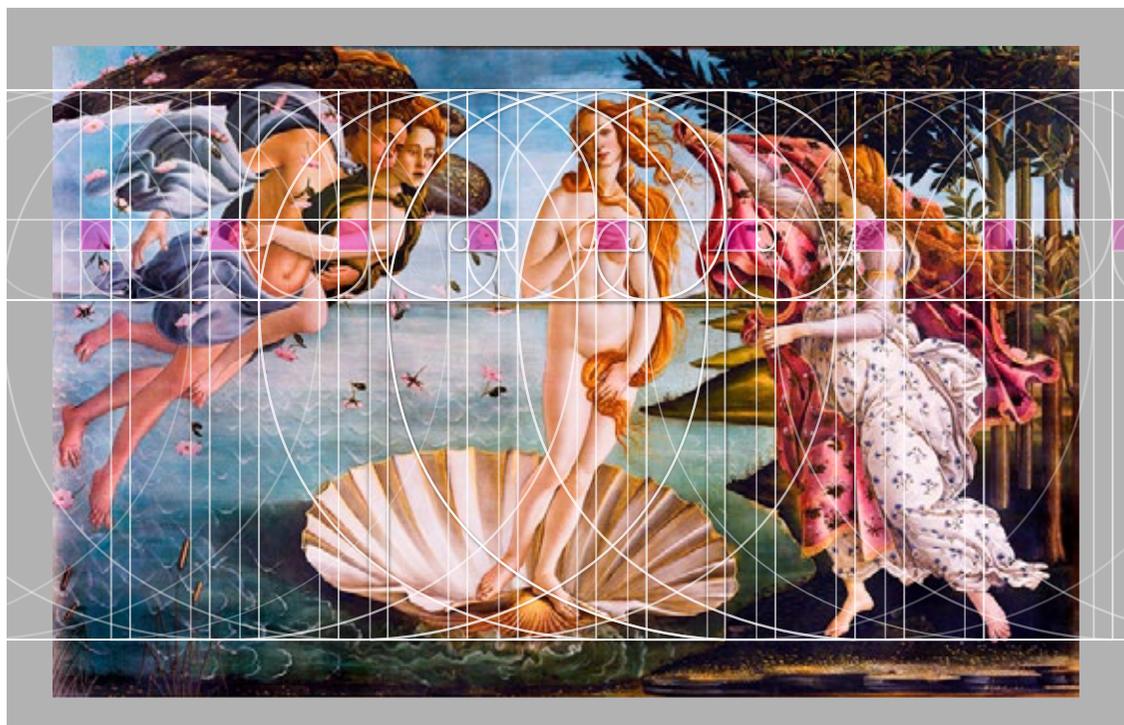


上記の図形をさらに^{さゆうはんてん}左右反転させて
^{ふくしゃ}複写してみると、下記のような図が現
れました。



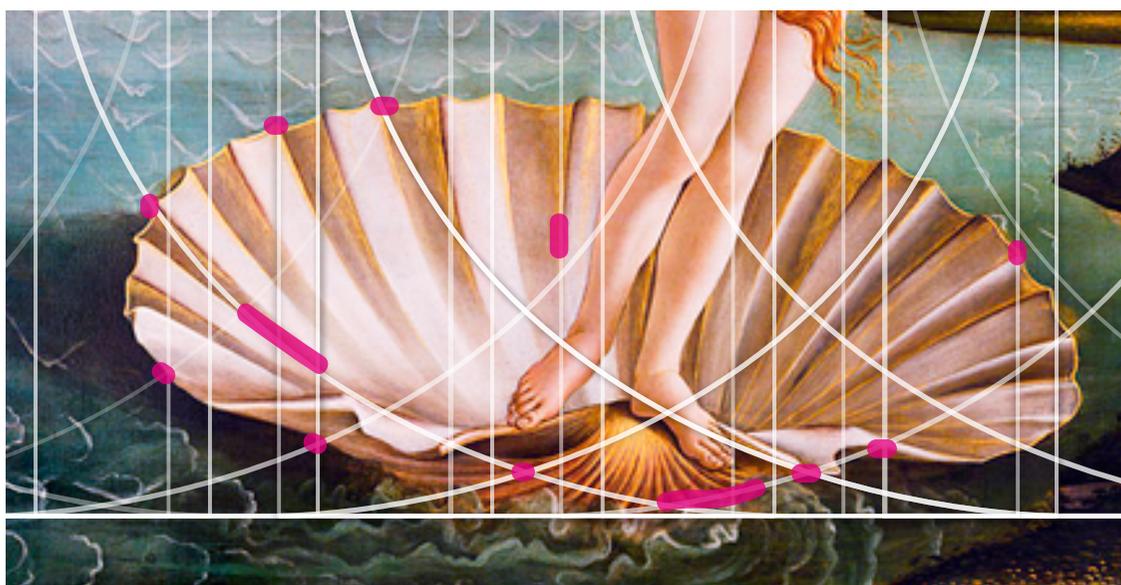
はんてんふくしゃ

反転複写した図形を重ねてみました。



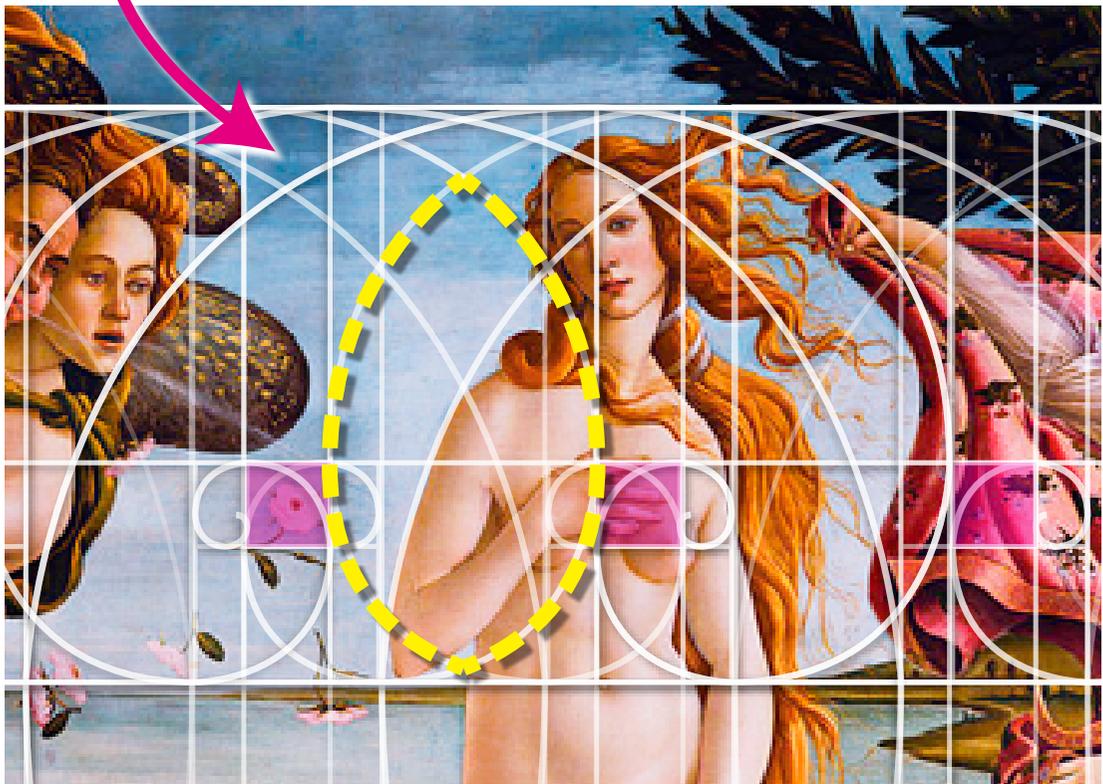
どうでしょう、ますますフィットしたように思いませんか？

細部を気をつけて見ていると、黄金比にピッタリと重なる部分がところどころにある事に気づきました。



そして妖精が握^{にぎ}っているマントの形が、黄金比の反転^{あんじ}を暗示させるかのように描かれているという事に気づいたのです。

暗号のような
同じ形が…





ボッティチェリの肖像
東方三博士の礼拝
(1478-1482年作) より

作者のボッティチェリがにっこり^{ほほ}微笑^えんだ気がしました。

(絵は笑ってませんが...)

ここまできると、もはやこの絵が黄金比で描かれているのは間違いないと確信していました。

私はさらに【ヴィーナスの誕生】について調べてみたいと思いました。

次に注目したのはヴィーナスの左側
にいる男神と女神です。

この男女の構図には違和感とも思える
不思議な印象を感じました。

まだ何らかの秘密がこの絵には隠さ
れていると思えるのです。



3次元の黄金比の発見

私は次に黄金比とは何かを理解していただく上で最も重要な黄金比の展開図かいじを開示します。

実は黄金比はある比率と角度を使い3次元の奥行きおくゆ（Z軸じく）を平面上に現わす事が出来るのです。

この3次元の黄金比の展開図はおそらくほとんどの方がはじめて目にする図形だと思います。

私はこの展開図を黄金比の調査を始めるまで知りませんでした。

また他の多くの黄金比に関連する書籍の中にも同様の展開図をみつける事

はできませんでした。

ここまでご覧いただきありがとうございますお
ざいます。

続きは製品版でお楽しみくださいませ。
せ。